



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年11月13日

上場会社名 株式会社東京ソワール 上場取引所 東
 コード番号 8040 URL <http://www.soir.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 村越 真二
 問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員管理本部長（氏名） 宮本 幸三 (TEL) 03-5474-6617
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	14,157	1.5	269	△51.2	377	△41.5	207	△47.0
25年12月期第3四半期	13,943	0.9	553	△25.4	645	△23.9	391	△23.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年12月期第3四半期	11.28		—					
25年12月期第3四半期	21.27		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	17,341	11,796	68.0
25年12月期	17,275	11,838	68.5

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 11,796百万円 25年12月期 11,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年12月期	—	5.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	2.4	300	△17.7	420	△15.5	220	△23.4	11.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年12月期3Q	19,300,000株	25年12月期	19,300,000株
26年12月期3Q	930,124株	25年12月期	923,331株
26年12月期3Q	18,373,541株	25年12月期3Q	18,383,013株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績見通しに関する事項は、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口) が所有する当社株式 295,000株を自己株式に含めて記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期財務諸表	P. 5
(1) 四半期貸借対照表	P. 5
(2) 四半期損益計算書	P. 7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(四半期貸借対照表関係)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)における日本経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和の効果などにより、景気は緩やかな回復が続いております。しかしながら、消費税増税による景気下振れや、円安による輸入原材料価格の上昇などもあって、先行きは不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、消費税増税前は高額商品を中心に販売が好調に推移したものの、増税後の反動や天候不順など、消費者の節約志向と相俟って、厳しい経営環境が続いております。

こうした状況の中で当社は、百貨店販路ではキャリア世代に向けたブランド『INDIVI(インディヴィ)』の新規展開など、収益拡大に向けた取り組みを強化いたしました。併せて、創立45周年の販売促進キャンペーンにより消費税増税前の駆け込み需要を取り込み、増税後は百貨店・量販店向けに45周年記念限定商品の展開などを行いました。また、フォーマルコンセプトショップ「フォルムフォルマ」の出店を加速すると共に、常設2店舗目となるアウトレットモールへの出店を進め、既存販路に対する商品鮮度の維持・向上への取り組みを継続して強化しております。

この結果、商品別の売上高は、ブラックフォーマルが91億88百万円(前年同四半期比0.6%増)、カラーフォーマルが24億58百万円(同2.0%増)、アクセサリ類が25億9百万円(同4.6%増)と、当第3四半期累計期間の売上高は前年同四半期比2億13百万円増の141億57百万円(同1.5%増)となりました。

利益面では、消費税増税後のブラックフォーマルの売上不振や量販店販路における値下げ販売の増加などもあり、売上総利益率は47.7%(前年同四半期比0.1ポイント減)となりました。また、新規出店に伴う販売員給与や賃借料、並びに荷造運賃などの物流コストの増加に加え、販売促進費や支払手数料などの増加により、販売費及び一般管理費は、前年同四半期比3億82百万円増(同6.3%増)となりました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は、営業利益は2億69百万円(前年同四半期比51.2%減)、経常利益は3億77百万円(同41.5%減)、四半期純利益は2億7百万円(同47.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べて66百万円増加し173億41百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少6億54百万円があったものの、売上債権の増加5億82百万円や棚卸資産の増加1億13百万円等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べて1億7百万円増加し55億45百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少1億93百万円があったものの、賞与引当金の増加1億55百万円や返品調整引当金の増加69百万円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べて41百万円減少し117億96百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加20百万円があったものの、その他有価証券評価差額金の減少60百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて、6億54百万円減少し8億69百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は3億15百万円(前年同四半期は1億81百万円の支出)となりました。これは主に、税引前四半期純利益3億77百万円や賞与引当金の増加額1億55百万円があったものの、売上債権の増加額5億82百万円や仕入債務の減少額1億93百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億20百万円(前年同四半期は79百万円の支出)となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出67百万円や固定資産の取得による支出45百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億18百万円(前年同四半期は2億4百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出1億81百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年2月13日公表しました「平成25年12月期決算短信（非連結）」の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,524,862	869,972
受取手形及び売掛金	3,381,184	3,836,354
電子記録債権	253,612	381,024
商品及び製品	4,156,128	4,338,337
仕掛品	191,129	120,763
原材料	2,809	4,176
その他	356,146	338,524
貸倒引当金	△4,541	—
流動資産合計	9,861,330	9,889,153
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,987,814	1,987,814
その他(純額)	1,271,866	1,255,843
有形固定資産合計	3,259,680	3,243,657
無形固定資産		
投資その他の資産	36,546	89,848
投資その他の資産		
投資有価証券	2,194,559	2,116,617
賃貸不動産(純額)	1,584,424	1,574,486
その他	341,955	430,790
貸倒引当金	△3,196	△2,925
投資その他の資産合計	4,117,743	4,118,969
固定資産合計	7,413,971	7,452,475
資産合計	17,275,301	17,341,628
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,032,579	747,815
電子記録債務	2,144,596	2,236,041
未払法人税等	98,379	130,202
賞与引当金	—	155,532
返品調整引当金	432,000	501,000
資産除去債務	—	3,110
その他	869,756	892,316
流動負債合計	4,577,312	4,666,017
固定負債		
退職給付引当金	520,365	480,324
役員退職慰労引当金	176,356	194,717
資産除去債務	39,038	39,572
その他	124,211	164,582
固定負債合計	859,971	879,196
負債合計	5,437,284	5,545,214

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金	3,732,777	3,732,777
利益剰余金	3,881,383	3,901,896
自己株式	△340,818	△342,555
株主資本合計	11,322,420	11,341,195
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	515,597	455,219
評価・換算差額等合計	515,597	455,219
純資産合計	11,838,017	11,796,414
負債純資産合計	17,275,301	17,341,628

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	13,943,743	14,157,208
売上原価	7,284,852	7,398,811
売上総利益	6,658,890	6,758,396
販売費及び一般管理費	6,105,676	6,488,452
営業利益	553,214	269,944
営業外収益		
受取利息	446	388
受取配当金	22,644	28,220
受取賃貸料	65,072	65,072
受取ロイヤリティ	25,650	28,926
その他	13,527	21,625
営業外収益合計	127,342	144,232
営業外費用		
賃貸費用	25,844	25,981
支払手数料	7,241	7,259
その他	2,265	3,665
営業外費用合計	35,351	36,905
経常利益	645,204	377,270
特別損失		
減損損失	3,931	—
特別損失合計	3,931	—
税引前四半期純利益	641,273	377,270
法人税、住民税及び事業税	350,828	232,767
法人税等調整額	△100,581	△62,706
法人税等合計	250,247	170,061
四半期純利益	391,026	207,209

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	641,273	377,270
減価償却費	102,208	128,430
減損損失	3,931	—
受取利息及び受取配当金	△23,091	△28,608
返品調整引当金の増減額(△は減少)	94,000	69,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	400	△4,812
賞与引当金の増減額(△は減少)	151,410	155,532
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△26,594	△40,040
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,347	18,361
売上債権の増減額(△は増加)	△429,107	△582,583
たな卸資産の増減額(△は増加)	△171,308	△113,210
前払費用の増減額(△は増加)	152,951	77,290
仕入債務の増減額(△は減少)	△198,482	△193,319
未払金の増減額(△は減少)	△133,610	△96,872
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,829	138,959
その他	△63,354	△56,539
小計	135,801	△151,143
利息及び配当金の受取額	23,091	28,610
法人税等の支払額	△340,040	△193,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	△181,147	△315,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△11,528	△11,619
固定資産の取得による支出	△42,486	△45,340
貸付けによる支出	△6,220	△4,389
貸付金の回収による収入	5,943	8,023
敷金及び保証金の差入による支出	△28,599	△67,533
敷金及び保証金の回収による収入	3,768	—
その他	20	243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,102	△120,616
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△180,149	△181,591
自己株式の取得による支出	△1,445	△1,737
その他	△22,543	△35,355
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,138	△218,684
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△464,388	△654,889
現金及び現金同等物の期首残高	1,748,951	1,524,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,284,562	869,972

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

偶発債務

厚生年金基金の特例解散について

当社が加入する「東京アパレル厚生年金基金」(総合型)は、平成26年4月24日開催の代議員会において、特例解散の方針を決議しております。当方針決議により、同基金解散に伴う費用が発生する可能性があります。不確定要素が多いため合理的に金額を算定することは困難であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。